

独立行政法人地域医療機能推進機構

# JCHO 登別病院通信

Japan  
Community  
Health care  
Organization

発行日 2018年6月

NO4



今月の表紙 撮影者 早坂祐美子

## 今月号の内容

- 院長のご挨拶
- 初めまして！よろしくお願ひ致します 新任のごあいさつ
- JCHO 登別病院のご案内



## 院長のご挨拶

伊藤 美夫



長い冬もようやく終わり、暖かい春が来たかと思う間もなく、夏が到来してきました。ここ数年北海道は春、秋の期間が短く、四季を十分味わえることがなくなってきたような気がいたします。当院は2014年に登別厚生年金病院からJCHO登別病院となり、今年で5年目を迎えることになりました。

今年には診療報酬、介護報酬同時改定の年であり、新専門医制度開始の年でもあります。診療・介護報酬改定が各病院に対し、どの程度の影響を与えたか、そろそろ結果が出始めていることと思います。新専門医制度は地域医療を担当している病院には向かい風で、個々の病院の努力だけでは医師

確保はもはや限界で、今後は制度化しなければ対応出来なくなるものと考え始めている関係者は多いと思われます。さらに看護師の確保も困難な状況になってきております。

この地域医療逆風のなかで当院は新病院の移転・建替えの準備が進んでいます。今回の建替には設計と工事を一つの業者が担当するデザインビルド方式を採用しました。これにより工期の短縮が可能になります。新病院は1階が外来診療ユニットを中心に連携部門を配置した外来部門となっています。具体的には外来部門、救急部門、放射線部門、検査部門、薬剤部門、栄養部門、物品管理部門、運営・厚生部門、事務部門、地域医療連携部門、訪問看護ステーション、健康管理センターなどが配置されております。2階は病棟部門（一般病床55床、回復期リハビリテーション病床55床）とリハビリテーション部門が同一フロアに配置されております。3階は手術・中材部門、運営・厚生部門（医局、会議室など）、エネルギー部門が配置されております。

今後のスケジュール（工程計画）ですが、設計は2017年9月から2018年6月までで、その後の申請は2018年7月から9月に行われます。新築工期は2018年10月から2020年2月（17ヶ月）までを予定としており、大変タイトなスケジュールとなっております。

現在、本部、担当業者、当院で新病院建設委員会、代表者会議、部門会議などを行っており、多忙な日々を送っていますが、新病院に向かって職員一同頑張っております。

## 初めまして! よろしくお願ひ致します

統括診療 整形外科部長 小澤慶一 医師 薄陽祐 医師 杉修造 医師 岡口芽衣



4月より九州から赴任して参りました、薄陽祐 杉修造 岡口芽衣です。

3月末に引っ越して来た際、外気は肌寒く、路肩に積もった雪に不安を感じながら生活を開始しましたが、北海道の広大な大地に魅力を感じ、北海道の方々の優しい笑顔に感動しながら有意義な時間を過ごすことができます。温泉街だけでなく病院内にも温泉施設があり利用する度にとっても癒されています。

整形外科疾患の治療には手術治療、リハビリ治療、薬による治療、装具による治療などがありますが、整形外科医として一番大事なことは患者さんからの訴えをよく聴いて、正確な診断をし、その患者さんに最も適した医療を提供することにあると考えております。

看護師やリハビリスタッフをはじめとする医療従事者と連携し、患者さん一人一人と真摯に向き合い、真の意味で笑顔と信頼をお届けできるよう、日々の診療を行っていきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。



事務長 山田俊幸

この度、4月1日付でJCHO登別病院事務長に就任いたしました山田です。

もともと国立病院機構(NHO)の職員で道内の国立病院を転々としトータル40年弱勤務して参りました。2年前に北海道がんセンターより前任地のJCHO札幌北辰病院へ異動となり、この度こちらで勤務することになりました。

ここ登別には温泉に入りは何度も来ましたが、勤務はしておりませんが、当院の隣りにあった国立病院へ何度か来たことがあり、いつも横目で通り過ぎていました(その当時、当院は厚生年金病院でした)。まさか将来ここで仕事をする事になるとは夢にも思っておりませんでした。ビックリです。

当院は、2020年4月に登別東町に新築移転を予定しており、院長先生初め職員の皆様は通常業務で忙しい中、大変ご苦勞されて基本設計が出来上がったと聞いています。現在、実施設計の段階で出来上がり次第いよいよ工事が開始され、同時に移転に向けての準備作業が続きます。

少しでも患者さんに優しく、職員には使いやすい新病院になるよう、また、病院開設後も安定した病院運営(経営)を目指し、微力ながら皆様と一緒に頑張っていく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

## 初めまして! よろしく



事務長補佐(経理) 間宮 稔

2018年4月1日より事務長補佐(経理)を拝命いたしました間宮と申します。平成8年4月に北海道社会保険病院(現JCHO北海道病院)に入職してから、東京にある本部で2年間の長期研修職員を経験、北海道病院に戻り10年ほど勤務したのち、宮城県仙台市のJCHO仙台病院を2年と渡り歩きこの度登別病院にお世話になることとなりました。

当院は、平成32年4月に予定されている登別東町への新築移転という一大イベントが控えております。前勤務先の仙台病院でも新築移転を控えておりましたが、一生働いてても経験できないことかもしれません。そのような経験ができることに不安感もありますが、期待感もあり複雑な心境です。

登別といえば温泉!というイメージを持っていたので、時間があるときには温泉めぐりでもしてみようかと思えます。

登別に来て1か月も経っておりませんが、まだまだ不慣れなところもあり、微力ではありますが当院で自分の持てる力を十分に発揮していきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



事務長補佐(医事) 新津 英俊

この度、登別病院にて勤務させていただく事となりました新津と申します。

JCHO 札幌北辰病院、JCHO 北海道病院附属介護老人保健施設、本体の経理課と経て今回、久しぶりに医事での勤務となりました。

プライベートでは、車やボウリングが趣味でスポーツに関しては、バレーボールを30年以上続け、札幌協会で高校の大会審判もしていましたので、何かあれば声をかけて頂ければ嬉しいです。

今後は、今まで以上に努力し早く病院に慣れ、皆様の一員になれるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

## お願い致します



副放射線技師長 石ヶ森 修

こんにちは、診療放射線室の石ヶ森です。今年度からJCHO登別病院に配属されました。前任地はJCHO北海道病院です。既に何人かの方々がこちらへ転勤されているのでちょっと安心しております。前任地では主任をしていました。後輩の指導などという業務はさておき、特に主任業務は決まったものが無かったので気楽に撮影検査に携わっていましたが、今回副放射線技師長という役職になり少々戸惑っているところです。前任地で副技師長は技師長の補佐とはいえ、特に何か任されているわけではなく、主任、一般職員と変わらず撮影業務に関わっていました。ただ自分がその役になると漠然と何かやらないとならないだろうか？的な感覚になり、一般的には立場を意識するようになった、と言われる状態だと思っています。今までに転勤もしたことがなく、秀でているところもなく、何も分からない状態なので、福岡技師長ならびに佐藤技師に教えをもらいながら、早く登別病院の雰囲気とルーチンワークに慣れて病院業務に貢献できるようになりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。



主任検査室技師 五十嵐 香

4月よりJCHO仙台病院から転勤してまいりました。  
新病院の建設など多くの課題がある中、早く環境に慣れ、仕事を覚えていきたいと思っております。  
よろしくお願い致します。

## 初めまして! よろしくお願ひ致します

看護師長 坂本 親子    看護師 西山 由真    佐藤 あか利    新沼 望夢



皆さん初めまして、札幌北辰病院から転勤してきた坂本です。

こちらの病院にお世話になり、早1ヶ月が過ぎました。あっ!!という間というのは本当だと今実感しています。思い返すと、看護学校を卒業してもしかしたら登別病院に就職していたかもしれません。看護学校は社会保険だったので、就職は札幌か、登別の選択でした。当時の誘い文句は(学生みんなに声がかかっているのですが)、登別に就職すればお金がたまるというものでした。若干惹かれましたが、そこはまだまだ若くて、仕事も頑張るけどプライベートも充実させたい思いが強く就職を断ったなど、そんなことを思い返しながら、おまけに登別病院が建替えになるというタイミング。不思議な縁だと思っています。

まだまだ慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけしています。スタッフや患者さんはいち早くおぼえようと努力し覚えましたが、病院内がまだ迷路状態。自分が関わるころしか覚えていません。迷っているところを見かけたらどうか声がけをお願いいたします。病院が変わると仕事内容も随分違うということも、この1ヶ月でわかりました。ただ、患者さんへの看護は変わりありません。今後ともご指導いただきながら登別病院の一員として地域に貢献する人材の育成や看護を提供できるよう尽力したいと思っています。どうかよろしくお願い致します。

JCHO北海道病院から異動してきました、西山由真です。今まで働いていた病棟は婦人科と小児科メインの混合病棟でした。異動してきた当初は、対象にする患者や分野の違う病棟、紙カルテなど、戸惑うことが多くありましたが、スタッフの方々に恵まれ、親切に指導して頂き、少しずつ病棟に慣れてきたと感じます。一日でも早く、即戦力になれるよう努めていきますので今後ともよろしくお願い致します。

佐藤あか利です。出身は白老町で3月に看護学校を卒業しました。憧れの看護師になれたという喜びを忘れず、信頼される看護師を目指して患者さんと関わっていきたくと思います。ご迷惑をおかけすると思いますが、早く業務を覚えられるよう頑張りますので、これからよろしくお願い致します。

新沼望夢です。3月に看護学校を卒業し、4月から働かせて頂いて約1ヶ月が経ちました。今は病棟に慣れてきて、4月はあっという間に過ぎました。社会に出て感じたことが看護学校で学んだことだけではわからないことが多く、日々学習を進めて、学びを深めていかなければならないと感じました。技術や知識など未熟で迷惑をおかけすることが多いと思いますが、少しずつ努力をしていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

## 初めまして! よろしくお願ひ致します



古田麻未

鈴木政子

### 看護師 古田麻未 看護師 鈴木政子

初めまして。4月から2—4病棟に配属されました、看護師の古田麻未です。  
働き出してから1か月は本当にあっという間でした。

病棟では退院後の生活に向かって多職種のスタッフが話し合い、患者様にとって何が一番良いか、家族の受け止め方はどうか、介護サービスは何かが必要かといったことをカンファレンスすることで、今後の方向性を探求していくのを見て、私も早く仕事を覚えて患者さんにとってベストな方向性をアセスメントできるようになりたいと思います。

休日は大好きなお酒をゆっくり飲んだり、美味しい物を食べたり、温泉に行ったりしてリフレッシュしています。

どうぞよろしくお願ひ致します。

4月から回復期病棟に配属されることになりました鈴木です。昨年の6月に函館から登別に引っ越してきて登別の生活にも慣れてきたところでしたが、登別温泉街の方へはあまり来たことがありませんでした。登別温泉には今まで数回温泉に来たことがあり、今までリフレッシュのために来ていたイメージで、登別温泉街にある病院で働くことがすごく不思議な感覚です。硫黄の匂いだったり、観光地という独特の落ちついた雰囲気がある土地で働けることを嬉しく感じています。

今までは急性期の病棟で働いており、回復期病棟、整形の看護が初めてではあるのですが、病棟の方には、親切に教えていただき感謝しています。

1日でも早く業務に慣れ患者さんと関わっていきたいと思っているので、これからどうぞ宜しくお願ひ致します。



### 理学療法士 松岡宏晃

今年度より理学療法士としてリハビリテーション室に配属となりました松岡宏晃と申します。多々、至らぬ点などあるかと思いますが、精励努力致す所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

# JCHO 登別病院のご案内

## ●外来診療体制

		月	火	水	木	金
整形外科	午前	オザワケイイチ 小澤慶一 ススキ ヨウスケ 薄 陽祐	オザワケイイチ 小澤慶一 スギ シュウゾウ 杉 修造	スギ シュウゾウ 修造 ススキ ヨウスケ 薄 陽祐 オカグチ メイ 岡口芽衣	オザワケイイチ (予約 10時迄) 小澤慶一 オカグチ メイ 岡口芽衣	スギ シュウゾウ 杉 修造 ススキ ヨウスケ 薄 陽祐 オカグチ メイ 岡口芽衣
	午後			出張医 (予約制)		
外科	午前					
	午後					
内科	午前	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ヨコヤマトヨハル 横山豊治
	午後					
神経内科	午前	出張医(予約制)			出張医(予約制)	
	午後	//			//	
ペイン クリニック	午前		カマタノリコ 鎌田紀子 (第2・第4)			
泌尿器科	午前				出張医(予約制)	
婦人科健診						最終木曜日のみ

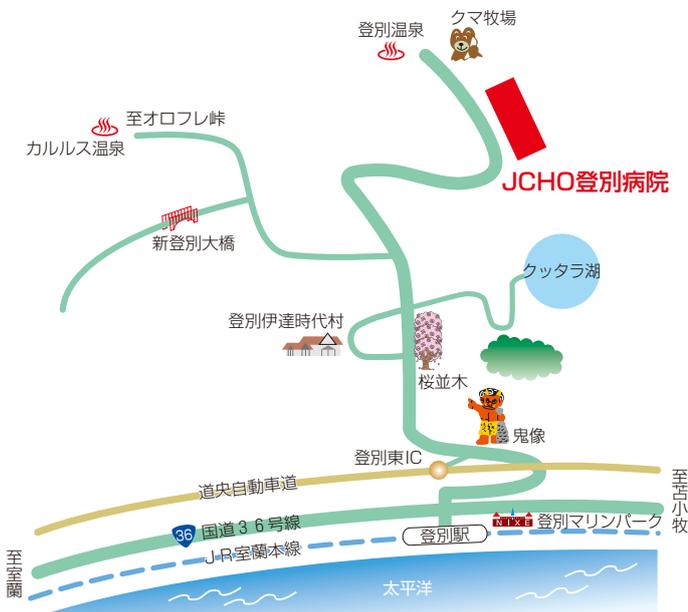
※診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。

## ●外来診療受付・診療開始時間

	診療受付時間	備考
午前	8時30分～11時30分	9時から(神経内科は9時30分)から診療開始です

※時間外の場合は事前にご連絡をお願いします。

※整形外科は24時間365日の診療体制をとっておりますが、土日夜間等は内科系医師が初期対応する場合があります。



### <各交通機関>

- JR登別駅下車(特急列車停車)登別温泉行きバス(病院前下車徒歩2分)
- 札幌ー登別温泉高速バス(病院前下車徒歩2分)
- 道央自動車道:登別東インターより7分



独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院

〒059-0598 登別市登別温泉町133番地

TEL(0143)84-2165 FAX(0143)84-3206

<http://nobaribetsu.jcho.go.jp>

[main@nobaribetsu.jcho.go.jp](mailto:main@nobaribetsu.jcho.go.jp)

出版責任者 院長 伊藤 美夫  
編集長 事務長 山田 俊幸